

健康だより

健康課・医療対策課
☎53-2101
各地域の保健センター
萩原 ☎52-1230
小坂 ☎62-3111
下呂 ☎25-2680
金山 ☎32-4500

思いやり いのちつなげる 愛の献血

＊「愛の血液助け合い運動」月間
「愛の血液助け合い運動」は、厚生労働省などの主催で7月1日から31日までの1カ月間、全国で展開します。毎年夏季は、長期休暇などにより、学校や企業、団体などから、

献血への協力が得にくい時期ですが、輸血用血液は年間を通じて安定的に確保することが大切です。

＊献血を取り巻く現状
全国での年間献血者数はここ数年

来減少傾向にあるのですが、今年度下呂市の献血実施会場では、例年より多くの市民の方にご協力をいただいています。おそらく東日本大震災への支援の気持ちで、献血される方の数の増につながっているようです。



しかし全国的に見ると、近年は特に若者の献血離れが目立っています。少子高齢社会が進んでいく中で、輸血を必要とする方々を支えていくために必要な血液が不足する恐れもあり、若年層はもちろん各年代層で支えあっていくことが今後ますます大切になっていきます。

(参考・日本赤十字社ホームページ)

献血方法別の採血基準 (青太字は今年4月から改正された部分)

種類 項目	全血献血		成分献血	
	200ml	400ml	血漿成分献血	血小板成分献血
1回献血量	200ml	400ml	600ml以下	400ml以下
年齢	16歳～69歳*	男性 17歳～69歳* 女性 18歳～69歳*	18歳～69歳*	男性 18歳～69歳* 女性 18歳～54歳*
体重	男性 45kg以上 女性 40kg以上	男女とも 50kg以上	男性 45kg以上 女性 40kg以上	
最高血圧	90mmHg 以上			
血液素量	男性 12.5g/dl以上 女性 12g/dl以上	男性 13g/dl以上 女性 12.5g/dl以上	12g/dl以上 <small>(赤血球指数が標準値にある女性 は11.5g/dl以上)</small>	12g/dl以上
血小板数	—	—	—	15万μl以上 60万μl以下
年間献血回数	男性 6回以内 女性 4回以内	男性 3回以内 女性 2回以内	血小板成分献血1回を2回分に換算して血漿成分献血と合計で24回以内	
年間総献血量	200ml献血と400ml献血を合わせて男性1,200ml以内、女性800ml以内		—	—

*65歳～69歳の方は、60歳～64歳の間に献血の経験がある方に限られます。

7月の献血バス巡回日程

7月 **20日** (水)
星雲会館
10:30～12:00
13:30～16:30

7月 **21日** (木)
ショッピングセンターPia
10:00～12:00
13:00～16:00



※一部市外の担当医師は緊急時以外にのみ対応。

8月		7月	
28日(日)	奥村昇司 (せむらひクリニック)	3日(日)	小池利幸 (小池医院)
21日(日)	小林源博 (はやし整形外科)	10日(日)	藤岡均 (藤岡医院)
14日(日)	二村克 (二村医院)	17日(日)	黒木尚之 (黒木医院)
7日(日)	阿部親司 (阿部医院)	24日(日)	大林秀成 (萩原北医院)
31日(日)	中田宗彦 (中田医院)	18日(日)	今井直人 (花田医院)

7・8月の担当医師

◆診療科目 内科、小児科(急病者に限りませ)

◆診療日 日曜、祝日、年末年始

◆診療時間 午前9時～午後3時

※事前に電話をしてお越しください。(予約はできません)

※受診の際は、必ず保険証やお薬手帳(ある場合)をお持ちください。

※急病患者専用のため、平常継続して受けている治療は遠慮ください。

下呂市立休日診療所

☎24-1200

下呂市森801-10(下呂市民会館内)

こころの健康相談(精神保健相談)

人間関係の不安や悩みがある・ひきこもりで悩んでいる・アルコールのことで悩んでいる・高齢者の行動で気になることがある―こんなとき、気軽にご利用ください。専門医・保健師による相談(午後1時30分～3時)を行っています。事前の電話予約が必要です。

● 飛騨保健所健康増進課

☎0577-33-1111(内線311)

● 7・8月の開催日

7月25日(月) 萩原保健センター
8月29日(月) 下呂保健センター

馬瀬診療所の診療日・時間等の変更

診療日	7月13日まで	7月21日から
診療時間	毎週水曜日 13時30分 ～15時30分	毎週木曜日 13時～15時
担当医	市川伸也 医師	水口一衛 医師
診療科目	内科	内科

市立馬瀬診療所では、7月から診療日・診療時間・担当医師を表のとおり変更します。

現在の体制は7月第2週の13日(水)まで、変更後の体制は同第3週の21日(木)からです。市民の皆さま

日本脳炎予防接種の機会を逃した方へ

平成17年5月からの日本脳炎予防接種の見合わせに伴い接種機会(1期3回・2期1回)を逃した方は、希望により1期と2期の接種(無料)が可能となりました。今年5月の法律の改正によるもので、対象は平成7年6月1日～平成19年4月1日生の方です。

7歳半(90ヶ月)未満の方の接種はお手持ちの予診票がご利用いただけますが、7歳半以上の方の接種に

のご理解とご協力をお願いします。

は予診票が必要です。各地域の保健センター(馬瀬は振興事務所)で予診票を交付しますので、接種を希望される保護者の方は母子健康手帳など接種履歴が分かるものをお持ちの上、お越しくください。予診票を交付する、各保健センター等の7月の窓口開設日は次の通りです。

馬瀬	金山	下呂	小坂	萩原
11日	毎週火曜日	6日、8日、11日、13日	19日、25日、毎週木曜日	毎週火曜日
9時30分～11時30分	9時～17時	13時～17時	9時～12時	13時～17時

※開設日に都合が悪い方はお問い合わせください。

新病院が目指すもの

● 空調設備 現在は老朽化のため効率が悪く、臭いがある状態です。夏場は騒音のため深夜運転が不可能となっており、入院中に熱中症といったことにもなりかねません。一方で冬季療養病棟では凍える寒さです。新病院では空調関係が大きく改善されます。

● 患者入浴設備 入浴は患者の状態

改善のために極めて有効な方法ですが、現在の療養病棟には専用の入浴設備がありません。入浴設備の新設は、療養環境の改善に貢献するでしょう。

● 入院患者食堂 食事の大切さはいくらでもありませんが、食堂で食事をとることは患者の状態の改善、退院前訓練、介護の軽減にも極めて有効です。施設基準からも必要となっております。

● 居室と廊下の広さ 居室や廊下の広さは、病院の施設基準で決まっております。新病院では是正されます。

● 地域連携室 病院のもっとも重要な役割は、患者の入院治療です。患者の入院に際しては様々な社会的な問題が生じます。これらを解決するために

● 救急室の整備 交通事故などの高エネルギー外傷を、搬入から処置まで効率的に行える体制をとり、緊急の超音波診断やレントゲン撮影が患者を移動させることなく行える体制を整えます。

● 図書室・病理解剖設備 現在では病院に勤務する医師のほとんどは、専門医になることを望んでいます。患者側でも専門医を望む風潮があり、専門医志向に拍車をかけています。内科や外科で専門医の資格が取れる病院として、図書室のあること、病理解剖がで

きる設備を有することが必須となっております。図書室は論文を書くために参考となる医学雑誌を常備し、日常の診療においても日進月歩の診療を支えるために多くの医書の常備が必須です。

● 検診受診者と一般患者の分離 検診は、病院運営にとって極めて重要な収入源です。多くの方々に快く検診を受けて頂くためにも一般患者との分離が念願でした。一部の検査で共同使用もありますが、待合室、更衣室などは完全分離となります。

● 霊安室 本来病院にあるべき霊安室を設けました。

下呂市立金山病院 院長 古田智彦